|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(17)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月23日～ 4月24日週間祈りカード | | | |
| △産業宣教：237 と第1、2、3、RUTCの答え24  237に関する答え(創12:1-3) | △Remnant Day（核心）  5月学院福音化 | △レムナント伝道学：伝道者の生活と第1、2、3RUTCの答え24  一人で生き残るNobody(詩 23:1) | △散らされた弟子たち/237、5000を生かす第1、2、3RUTCの答え24  正しいミッションホーム(使1:12-15) |
| □序論\_ 237なるための隠れた根三つ  1.教会-福音:ただ福音が事実として現れる教会がプラットフォーム、見張り場、アンテナだ。  2.疎通(霊的) -御座:祈りは御座を動かすことなので、祈りを味わえば霊的な疎通が起こる。  3.メディア-暗号通貨時代:メディアで237を疎通するのだ。この準備をしなければならない。  □本論\_職業を237化させさい。  1.神様の基準-準備:237の祝福が神様が準備された基準  1)創12:1-3 「あなたの子孫によって、地上のすべての民族は祝福される」  2)出5:1-12:46モーセを通して10のわざわいと奇跡で237の門を開けられた。  3)Iサム17:1-47ダビデを通してゴリヤテを倒して世界化された。  △祈りを分かれば、最も事実的なことで、すべての世の中が機会であり周辺の強大国が世界福音化の通路となる。  4)ダニ1:8-9心を定めたダニエルに237になる知恵が与えられて世界を動かす王を生かした。  5)マタ28:16-20 「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」今でも働いておられる。  マコ16:15-20 「彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き」  使1:8違うものでは世界化できない。「ただ（しかし）聖霊があなたがたの上に臨まれるとき」  △事実通り信じれば237することができる答えが与えられる。  2.237キャラクター:これがなければ、私たちの次世代は世界福音化しなければならないので、このように行かなければならない。  1)奴隷　　2)戦争　　3)捕虜　　4)属国　　5)流浪民  3.器:この祝福を受ける特権があるので、大きい器を準備しなさい。  1)御座化:すべての現場御座化　　2)世界化:祈りで味わう  3)事実化させなさい。  □結論\_祈りの状態  1.24(OURS) - Best  最高の水準へ行く道を見つけるのを24する状態-ただ、唯一性、再創造のシステム  2.Wrong－Way 24(Oneness)  間違ったことの中に道(神様の計画)を見つける24 -ワンネス  3.神様の計画24(未来)  祈りで出会いの中に神様の計画を見る24 -未来が見える。  △これでこそ、世の中を生かすことができる。 | あらかじめ征服=しなくてはならないこと3・9・3:神様与えられた最も重要なことが私のことになるべきだ。  1.毎日一つずつ、与えること(伝道の門)をしなさい-指導者になる  2.毎日1ページでも力になる本を読みなさい-偉人伝  3.必ずメッセージ聞きなさい-霊的状態となる。  4.復習と予習(学習) -根本的な実力になる。  5.未来が発見できる-今日の分け前を完成させなさい。  「聖句チェック」:それとともに、今日の説教の聖書個所を探してみなさい。献金準備もあらかじめしなさい。  1アジヤ  1.使13:1-4始まり  すべてのことに、これからしなさい(聖霊の導き)。行く前に完全に答え受けて征服したのだ。牧師は、今からこれを70か所セッティングしなさい。道と人とことが見える時まで祈りなさい。  2.使13:5-12霊的勝利からすること  3.使16:6-10門が閉ざされたとき－私の人生に神様が最も願われることを見つけるターニングポイント  2ピリピ  1.使16:11 「祈り場に行くとき」-ルデヤとの出会い  2.使16:14 「主がルデヤの心を開かれた」  3.使16:16-18霊的いやし  4.使16:19-40監獄-奇跡  3テサロニケ  1.使17:1-2 「私たちが」出会いが重要  2.使17:3-6キリストの当為性証拠  3.Iテサ1:3、1:5福音の色が原色、「聖霊と力と強い確信」  4コリント  1.使2:10,9:10-15プリスカ夫婦とパウロの出会い  2.使18:4会堂　　3.使18:24-28アポロ  △この霊的な祝福の中にいれば出会いの祝福がくる。  5エペソ  1.使19:1-7伝道する前に恵みを先に受けること  2.会堂－御国、講堂―弟子、みことば運動:Remnantが味わう答え  3.使19:21,23:11,27:24見える未来  □結論  1.9流れ:過去、現在、未来、広さ、高さ、深さ、左右、下の人、上の人を同時に、はやく見なさい  2.おとな－RT(器):既成世代を尊重しても、ついて行ってはならない。試みにあうことがあるならば、真実に神様の前に立ちなさい。神様が解決される。Remnantは試みに会わずに器を準備しなさい。  3.幸せ:Remnantは神様で幸せでなければならない。 | □序論\_ 10の土台を握るべき  1.I歴29:10-14神様の絶対主権  2.エペ1:1-13神様の方法キリスト  3.使1:8神様の力「ただ聖霊」  4.Ⅱテモ3:14-17 「証人文書」、みことば  5.Iコリ3:16私を神様の神殿として聖霊を与えられた  6.使18:1-4私の現場が宣教地  7.詩139:1-9私たちの座る立つ動くことをご存知で導き  8.ヘブ9:27死が恐ろしくない  9.ルカ16:19-31来世  10.マタ10:40-42福音は水一杯も報いを失わない。  □本論  1.Nobodyの理由  1)世的なことが必要ない。  2)間違ったこと、失敗すること  3)いくら成功しても世の中とサタンの奴隷、捕虜、属国  2.Nobodyの方法  1) WITH -神様が私とともに  2) Immanuel -救いの神様が私たちとともに  3) Oneness -すべてともにおられるに神様のみこころ  3.Nobodyの内容-小さいこと中でも見つけなさい  1) Only -ただ  2) Unique -唯一性  3) Re-creation -再創造  □結論\_一つずつ挑戦しなさい。  1.一万時間の法則  2.40、10、礼拝、毎日-集中  3.このとき、Remnantは24法則が分かる。祈り24になれば心配する必要がない。 | 私の生涯70弟子見つける計画  例:サムファ寄宿舎、ヨンド、釜山内の大学と公団  □序論\_ 24とは何か(3・9・3)  1.三位一体、御座、時代  三位一体の神様が御座の祝福でともにおられ、時代を生かす祝福を準備。5基礎をこの(三位一体、御座、時代)の中に入れること。  タラッパン－た、唯、再　三位一体、御座、時代の祝福によって、ただ、唯一性、再創造を持つ人が集まることがタラッパン  チームの働き－出会い　3・9・3の祝福を味わう出会い  ミッションホーム－ミッション　ミッションを悟ること  2.考え、心、脳、たましい、御座(からだ)  -生活  3・9・3の契約が私の考え、心、脳、たましいの中に入り込んで御座とともに私のからだ(生活)に証拠がくることが24  3.3・9・3  1)プラットフォーム2)見張り場  3)アンテナ  △3・9・3がプラットフォーム、アンテナ、見張り場になること  □本論  1.ミッション  1)カルバリの丘　　2)オリーブ山  3)マルコの屋上の間  △これを知らせることがミッション  2.伝達(家)  1)使2:41-42 　2)使2:46-47  3)使9:10,10:1-6,16:15,17:6,18:1-3  △みことばが家から伝達  3.伝達(個人)  1)私を御座化　2)家庭御座化  3)出会い御座化  私を御座化すれば、家庭と出会いの御座化が起こる  70　　宣教大会主題 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(17)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月23日～ 4月24日週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ  レムナントが味わうべき私の24(使2:17-18) | △聖日1部礼拝  先になった者と後になった者(マタ20:1-16) | △聖日2部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝  必要な人(マタ20:17-34) | |
| 10000時間、40日、10日、使2:42、使2:46-47、24、(25、永遠)  △10000時間の法則、40日集中、マルコの屋上の間で10日集中、使2:42に見れば聖日、「使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き」、使2:46-47 「毎日」、この祝福をレムナントが24味わえば、そのとき、神の国25、永遠という答えがくる。  預言、幻、夢(未来)  △使2:17-18には「息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」これは、未来が確実になったということだ。  □序論  1.残りの者－福音回復する者、すべてがすべて入っている福音を回復させること  2.残る者－力回復、神様から与えられる力を回復すること  3.残れる者－文化回復、単純な力ではなく、真の文化を回復すること  4.残す者－次世代回復、次世代を回復すること  □本論\_Remnantに一番最初に来る答え  1.霊的サミット－目に見えない霊的世界を征服  1)御国－霊的サミットであるから、必ず神の国が成り立つ。  2) 7大旅程-三位一体の神様、奥義10、10の土台、5つの確信、9つの流れ、62の生活、教会と礼拝が重要だということを知るようになる。  3)姿勢－タイム、必ず答えを受けるので、姿勢を備えるのだ。  2.技能サミット  今日-未来-今日の私の小さいことが未来と関係があるようにさせること、礼拝するこの時間が未来だ。  1)今－最適、最善、最高に行くこと、答えはそれからついてくる。  2)作品-小さくても作品として作ること、ダビデは楽しく羊飼いや最善を尽くしてゴリヤテに勝つほどの実力を備えて最高の作品を作った  3)ただ、唯一性、再創造-小さいことを持って神様の作品を作ったがただ、唯一性、再創造が出てきた  3.文化サミット  未来-今日-これから必ず来るしかない未来を今日に操り上げて見ることが文化サミットだ。  1)必ず来ること-霊的問題と病気時代、第3次産業革命、第4次産業革命時代を今、準備するのだ。  2) 237、いやし、サミット時代は必ず来るしかない。  3)一生のタラント出てくる成人式、専門性が出てくる使命式、現場を見る派遣式の答えを受ける。  □結論\_決断  1.絶対主権-神様の絶対主権が見えなければならない。  2.絶対計画-このときから絶対計画が見える。  3.絶対契約-必ず握らなければならない絶対契約が見える。  4.絶対旅程-間違わない道、絶対旅程が見える。  5.絶対目標-結論を知っているので、絶対目標が見える。 | □序論\_キリスト分かる瞬間、運命がひっくり返るが(ヨハ1:12、ヨハ1:11)この事実を確認した人は伝道せざるをえない。  1.約500年の間、暗やみの運命、強大国の攻撃、無能、偶像に閉じ込められていた韓国に福音の光が入ってきた後、世界宣教するほど、運命がひっくり返った。  2.偶像にやつれていた家系に、福音が入ってきて、家系の運命がひっくり返った。  3.私個人が福音を知るようになった瞬間、神様が私の人生を変えてしまわれた。  □本論\_本文を通じて重要なことを持って行かなければならない  1.イエス・キリストに出会って、恐ろしい過去の運命がひっくり返った。  1)苦労する両親、外国の援助を受ける国、救済品を分ける教会を見てサタンが12の戦略で私たちを滅亡させているという事実を発見  2)なぜキリストなのか契約をはっきりと握る  3)私の運命がこのときからひっくり返る  (1)身分が変わる　　(2)子どもになる権威が与えられる  (3)権威を使うことが祈り－御座と時空超越の祝福を味わう  2.キリストに本当に会う瞬間に今日の運命がひっくり返る。  △救われてもサタンが作った運命にいる信徒、ユダヤ人(マタ20:2、8)  1)神の子どもとして御座の祝福を味わうとき、今日の運命がひっくり返る。イエス様は御座についての言葉だけを言われた  (1)マタ5:3天の御国があなたたちのことだと。  (2)マタ6:10神の国が臨むように祈りなさい。  (3)マタ6:33まず神の国とその義とを求めなさい  (4)マタ12:28-30聖霊が臨んでサタン縛られれば神の国が臨むこと  (5)マタ28:16-20天と地、すべての権威を持ってともにおられることを約束  (6)マコ16:15-20御座におられる主が働かれる  (7)使1:3オリーブ山で40日間、神の国のことを説明  2)御座と40日を見つけ出しなさい-この契約を握ってマルコの屋上の間で10日間(使1:14)、聖日に(使2:42)、毎日神殿と家で集中(使2:46)  3)エペ6:18(いつでも=24)、Iテサ5:16-18  3.先になった者が後になって、後になった者が先になる－未来に運命ひっくり返ることを言われた  1)先になった者が後になる-先に信じて小さい者のように見えるが、私たちの次世代はより大きい働きを成し遂げるので、この力が次世代と異邦人と世界に伝達されるだろう。  2)後になった者が先になる-後に未来の運命を完全に変えるようになることだ。  3) 第4次産業革命で多くの暗やみ、わざわいに覆われる未来のわざわい時代を変える確実な準備－イエス様がすべて知って証人となると御座の力でともにおられることを約束  □結論\_過去の運命、今日の運命、未来の運命を変える契約を握りなさい。そのときから神様が働かれる。 | パリサイ人は熱心に信仰生活したが時間を振り返ってみると次世代まで滅びた。なぜそうなのか。神様が必要とされること、この世の中に必要なことをしなければならない。  □序論\_なぜ  1.死にたい  1)精神病　　2)中毒　　3)自殺(殺人)  2.無関心(無能):現場に関心ない教会  1)教理主張　　2) 3団体:難しい人々がこっちに行く　　3)門を閉ざす教会  3.状況  1)人の助けだけやりとりする。　　2)病気の中に陥り始め  3)ネフィリム運動が背景　瞑想、テンプルステイ、ムスリム  □本論\_ 「贖いの代価」 -神様が準備された唯一の答え  原罪－わざわい　　サタン－暗やみ　　地獄(背景)  △神様を離れた原罪のために来るわざわいは、発展するほど止める方法がない。サタンが暗やみの中にずっと引っ張っていく。生きる間の背景、この地を離れれば故郷である地獄に常に制せられている。この三つを完全に解決した単語がキリストだ。贖いの代価としてキリストを送られた(28節)。死んで復活すると言われた。  1.エルサレム(17-19節):エルサレムからこの中から出てくるようにしなければならない。  祭司長－十字架/復活:多くあざけりを受けて、十字架で死ぬことを言われ、3日目に復活すると言われた。  パリサイ教:パリサイ教がこのわざわいに陥っている。  中世教会－ルター:ルターを通して、このわざわいから抜け出すようにされた  △教会からわざわいから出るようにさせなさい。  2.信徒－弟子(20-28節):信徒と弟子からこのわざわいから出るようにしなければならない。  十二弟子:十二弟子がわざわいから出るようにさせなさい。  3.未来(29-34節):暗やみ、わざわい、地獄の背景から出るように贖いの代価の奥義を伝達すべき。  病人、次世代:病人と次世代がわざわいから出るようにさせなさい。  □結論  1.多民族:多民族がきてゆっくり休むことができる教会  2.人材:人材に正しい福音を与えてプラットフォーム、見張り場、アンテナになるようにさせなさい。  3.弱い者、捨てられた者、犯罪者:弱い者がいやされることができるシステム、捨てられた者が力を受けることができる所、犯罪者が新しくなることができる教会が必要だ。  庭－異邦人の庭、子どもたちの庭、いやしの庭がない。  △宣教について神様が私に何を希望されるのか質問してみなさい | |